

特定非営利活動法人 あおーら

2020年度事業報告（2020年4月1日～2021年3月31日）

1. 新型コロナウイルス感染症への対応

新しいウイルスとの未曾有の戦いを強いられた1年だった。感染防止に努めながら、サービスを必要とする人たちへのサービスの提供を継続し、職員・利用者の方の在宅勤務の導入、勤務（活動）時間の短縮、喫茶モナミの一時閉店等の対応を行った。

2. 当事者の方の立場から事業の見直し

当事者の方に必要な事業という視点から事業の見直しを行い、就労継続支援事業は、より高い工賃を目指す事業所と、利用者の方が安心してゆったり働くことができる日中活動の場としての事業所の2か所に再編することにした。

生活訓練事業は、退院後の地域生活への移行をよりスムーズに進めるという観点からプログラムの見直しを行うとともに、病院の相談室・デイケアとの連携を強化し、訪問支援の体制を整備することにした。

3. 法人の将来を考える

ネクストジェネレーションの会を設置し、理事と次世代を担う職員が、法人の将来像について自由に意見を交わす場を設けた。

4. みなくる倶楽部・家族会との協働

ピアサポーターによる講師活動の支援、ピアサポーターの育成に取り組んだ。家族会については、コロナ禍により研修会等の共催はできなかったが、全事業所に家族会パンフレットを揃え、今後の連携強化の糧とした。

5. 職員のスキルアップ

コロナ禍により外部研修への参加はできなかったが、全職員を対象に虐待防止チェックリストによる自己チェックを行い、自己チェックの結果を受け外部講師による虐待防止に係る研修会を実施した。

6. 「喫茶モナミ」を情報発信の場へ

市民と障害がある人たちのふれあいの場としての課題は残したが、障害者福祉の情報発信の場として、障害者福祉に係る市内全事業所の案内パンフレットを取り揃え、市民の方が自由に持ち帰れるようにした。